

# 近況 高校生の性

(上)

— 岩室 紳也

診察室に高校の制服姿で入ってきたA君。「(同級生の)彼女とセックスした後からおしっこするとしみるんです。性病にでもなったんすか。親に相談したら保険証を渡されて『医者に行きなさい』と言われたんで」

電車の中で突然、「先週、高校に話しに来てくれた性病の先生ですよね。私、やばいかも知れないんで相談したいんですが」と声をかけてきた……………

岩室紳也著「性感染症を知ろう」(日本家族計画協会)より



女子高生を制して、名刺を渡しながら「電車の中で話すのも何だから電話しておいで」と言ったら電話がかかってきました。「(中学生の)彼氏

がおちんちんから変なものが出るって言うんです。どうしたらいいんですか」と。

「どちらもクラミジアに感染していました。2人とも見た目は普通の高校生です。女の子はその後に私、電車の中で講演に来くれた先生に会って

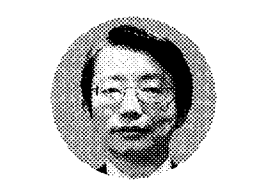
相談したら性病だったんだ」と、これまたあっけらかんと養護教諭の先生に報告したそうです。

若者たちに「どうしてセックスをするの」と聞くと、「一緒にいればずるのが当たり前じゃない」とまるでセックスがおしゃべりといったコミ

そこで、年代別にいろいろ変化がないようすが、男性で大きく変わっていました。男性の年代別の傾向は、50歳代は、他人と性体験があることは

「私、電車の中で講演に来くれた先生に会って相談したら性病だったんだ」と、これまたあっけらかんと養護教諭の先生に報告したそうです。

若者たちに「どうしてセックスをするの」と聞くと、「一緒にいればずるのが当たり前じゃない」とまるでセックスがおしゃべりといったコミ



いわむろ・しんや  
地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター長、泌尿器科の演義、エイトムダの講演に当り、年間約200回の患者の診療をこなす。別名「コンドーム達人」と呼ばれる。

昭和30年生まれの私が高校生の時、セックスや性感染症は遠い世界の話でした。しかし、セックスに対するハードルが加速度的に低くなり、今や高校卒業時に40%の子とも

## 低くなるハードル

# おしゃべりと同感覚

ユニケーションと同じような感覚です。「彼氏や彼女に前にセックスをした相手がいても気にしないの」と聞くと、「どうして気にするの」、「そんなの当たり前」と言います。ユニミンの歌に「男はいつも最初の恋にしない」とある。30歳代は「性体験の相手」と同じように「風邪引かしたくない」という感覚は女性であま

「性体験をもった相手に日常会話の一つになっ



# 近況 高校生の性

岩室 紳也

学力レベルが中より上という高校で、講演の後「フェラでも性感染症はうつるんですか」と一人の女子生徒が当たり前の質問をするような雰囲気聞いてきました。そんなことを口にして後で何か言われないの、と慌てていたのは私の方でした。アダルトビデオが女子高生にも浸透し、オーラルセックスが当たり前

という環境になっています。待ち望んでいたためではない妊娠。しかし、HIV（エイズウイルス）感染

## 性感染症の予防

が判明。ご主人からの性感染でした。「でも結婚前のごとってお互いいろいろありますよね。別に主人を恨んだりしません。でも、子どもを作る前にエイズ検査を受けた方がいいという情報が欲しいですね」とある患者は言いました。エイズはまだまだに不特定多数の人の自業自愛と遊んでいる人の自業自得の病気と思われ、必要な情報が伝わっていません。性感染症は自業自得ととらえられている背景に、正確な情報さえもってれば、誰でもそのトラブルを避けられるという誤解があります。かつて成人病と呼ばれた糖尿病や高血圧も、カロリリーや塩分制限ができない人の自業自得の病気という風潮がありました。しかも、「やっぱコンドームって買いにくいですよ」といった若者に対して、「したくなければN Oと言えはいい」「フェラを含めてセックスするならば必ずコンドームをとり組みが行われなければ成人病は克服できない」ということが明らかになり、「生活習慣病」という概念が出てきました。生活習慣病対策が多方面から取り組まれているように、性感染症を性生習慣病としてとらえ、

# 多角的に取り組んで



岩室紳也著「思春期の性を考えよう」(日本家族計画協会)より

得の病気と思われ、必要な情報が伝わっていません。性感染症は自業自得ととらえられている背景に、正確な情報さえもってれば、誰でもそのトラブルを避けられるという誤解があります。かつて成人病と呼ばれた糖尿病や高血圧も、カロリリーや塩分制限ができない人の自業自得の病気という風潮がありました。しかも、「やっぱコンドームって買いにくいですよ」といった若者に対して、「したくなければN Oと言えはいい」「フェラを含めてセックスするならば必ずコンドームをとり組みが行われなければ成人病は克服できない」ということが明らかになり、「生活習慣病」という概念が出てきました。生活習慣病対策が多方面から取り組まれているように、性感染症を性生習慣病としてとらえ、

がなければ予防は難しいでしょう。一方で、若者が興味を持っている「性」を題材に、人づくり、コミュニケーション能力の育成が図れば、おのずと命の大切さを意識し、相手に対する思いやりが生まれ、若者の性行動も少しは変わると思えますか。(地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター長)